

ばんけい

教育ほつとにゅーす
かわら版こ みち
教育の小径 No.118
2018 August
8月号(一財)総合初等教育研究所参与
前 国士舘大学教授

北 俊夫先生



今月のことば

- わた せけん おに
渡る世間に鬼はない
- 「鬼はない」とは無慈悲
- な人ばかりではないと
- いう意味です。世の中
- には困ったときに助け
- てくれる心優しい人も
- いるということです。
- 「鬼はない」とは言い
- ません。

子どもの生活地域の観察を

- 夏期休業日を利用して、子どもの生活舞台である「地域」を理解する機会をつくってはどうか。
- 地域理解は子どもを理解することにつながります。また、地域の教育資源を教育活動に生かすことによって、授業の質を高めることができます。

夏期休業日を利用して

「子どもたちが日々生活している地域を十分理解しているか」と問われると、自信をもって「はい!」と答えられないことがあります。学校が学区外の外れに位置していたり、決まったルートで通勤したりしていると、通勤経路の付近は見慣れていますが、地域を面として理解していないからです。

家庭訪問を実施したときや登下校時の子どもたちを指導する際に、学区の様子を観察することがあります。しかし、狙いが違っていたり、目的をもって意図的に観察したりしていませんから、地域の様子を十分理解するまでに至っているわけではありません。

普段は、子どもたちが生活している地域を観察したり見学したりすることは、なかなかできません。そのため、比較的時間の余裕がある夏期休業日を利用して、地域理解を深める機会をつくってはどうか。

実施は個人でも、グループでも可能ですが、ポイントはどのような狙いと視点をもって地域を観察するかです。ただ漫然と地域を歩くだけでは、十分な成果は期待できません。研修主任などが企画し、全校体制で実施することも考えられます。

例えば、交通安全や防災、遊びやスポーツ、地理、歴史、公共施設、自然環境、仕事や産業、伝統や文化などの目をもって地域観察します。それぞれに子どもたちがどのように関わっているかを把握するとよいでしょう。観察したことや聞き取り調査したことは学区の地図などにメモしていきます。

子どもたちの生活している地域を理解する恰好の機会として、夏期休業日を利用することができます。

地域理解は子ども理解の一環

地域を観察し理解することは、そこで生活している子どもたちを理解することにつながります。子どもたちはどのような社会環境や自然環境のなかで生活しているのかがわかります。

例えば、地域の公園にある遊具を見ると、子どもたちがどのように遊んでいるのかがわかります。交通量の多い通りや用水路などが身近にあると、子どもたちが遭遇する危険状況を把握することができます。

また、地域の祭りなど伝統的な行事に参加していることを知ることによって、学校では見られない子どもの違った側面をとらえ理解することができます。子どもによっては、学校では消極的であっても、地域に根づいているお

囃子の稽古には積極的に参加している場合もあります。

地域を理解する際に大切なことは、その地域に子どもたちがどのように関わっているかをとらえることです。教師が地域を理解することは、子ども理解の一環になります。

日々の教育指導に生かす

地域理解は子ども理解にとどまりません。地域理解をとおして子ども理解を深めるとともに、その成果を教育指導に生かすことが大切です。例えば、生徒指導など子どもへの直接的な指導や、授業など日々の教育活動に生かすことができます。子どもとの会話の中で話題にすることもできます。

これまで、地域素材の教材化、地域人材の協力、施設等の利活用などの取り組みが、教科等の特質を踏まえて行われてきました。地域のさまざまな教育資源を効果的に活用することによって、日々の教育活動や授業の質を向上させることができます。

新学習指導要領では、カリキュラムをマネジメントすることが重視されています。確かな地域理解にもとづいて地域資源を有効に活用することは、カリキュラムを作成し実施する際に必要になる重要な取り組みだと言えます。

今月の
記念日君が代記念日
(8月12日)

明治26年(1893年)のこの日に、文部省は小学校の祝日などに歌う唱歌として「君が代」などを定めました。平成11年に「国旗国歌法」が制定され、正式にわが国の国歌になりました。

とどろき どうする!

窓ガラスが割られたとき

ドッジボールが教室の窓ガラスにあたって、割れてしまいました。窓際には数人の子どもがいました。こうした場ではどのように対処したらよいのでしょうか。

まずは、その場における対処方法です。割れたガラスの近くにいた子どもたちに、割れた窓ガラスから離れるよう指示します。ガラスの割れ具合にもよりますが、離れ方について適切に指示します。むやみに移動させると、その際にけがをする場合もありますから慎重に判断します。二次被害を起こさないことがポイントです。

そのうえで、けがの有無を確認します。けがをしている場合には、けがの程度を観察します。切り傷程度の場合には、保健室に行かせます。出血が激しい場合には、校内の電話や子どもに依頼して、養護教諭や教頭などに連絡し状況を伝えて応援を求めます。

次に、割れたガラスを取り除く作業を行います。危険を伴いますから、子どもたちにさせることは慎み、教師が処理します。

事態が収まったところで、再発防止に関する指導を行います。どうして、窓ガラスが割れたのか、どのように危険な状況が生まれたのかなどについて子どもたちにじっくり考えさせます。このような事態が二度と起こらないようにするにはどうすればよいのかについても考えさせ討論させます。

もしガラスにボールをあてるなど、故意に割った場合には、当該の子どもに注意します。保護者にも事の状況を報告しておきます。

教育の動向

語彙力に関する意識調査

小学館集英社プロダクションは、言葉の使い方についての意識調査を実施しました。対象は、現在小学生を育てている保護者です。

それによると、子どもに語彙力をつけてほしいかどうかをきいています。「思う」「やや思う」と答えた人の割合は80.3%でした。語彙力をつける方法については、多い順に「本や新聞などいろいろな文章を読む」(71.0%)、「わからない言葉があったら、すぐに辞書で調べる習慣をつける」(56.2%)、「親子の会話を増やす」(48.7%)、「新しく覚えた言葉を

会話の中で積極的に使う」(30.8%)などでした。

本調査では「やばい」という言葉が表現したときの状況や感情についてもきいています。「やばい」とは、『広辞苑』によると「不都合である。危険である。」と示されており、本来否定的な意味合いをもっています。

調査結果では、「あやしい」(42.9%)、「びっくりしている状態」(39.7%)と、本来の意味で使われていました。次いで「おもしろい」(36.6%)、「楽しい」(22.8%)、「おいしい」(22.8%)で、肯定的な意味合いで使われていることがわかりました。

言葉の使い方、時代の移り変わりとともに変化していくのでしょうか。

シリーズ 新学習指導要領のキーワード解説 その10

学習評価

学習評価について、総則では、子どものよい点や進歩の状況などを積極的に評価することや、学習したことの意義や価値を実感できるように配慮することを求めています。前者は個人内評価を重視することであり、後者は学習に対する深まりを意識させ、充実感、達成感を味わわせることです。

また、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすることも求めています。

観点別評価については具体的な記述がありません。現在、学習評価のあり方について検討している中央教育審議会の総則・評価特別部会での審議状況によると、これからも観点別評価を基本に据えよとの考えのもと、資質・能

力の「3つの柱」にもとづいて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点から評価することが示されています。

資質・能力のうち「人間性」に関する部分(例えば国語科では、国語の大切さを自覚し、国語を尊重する。社会科では、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚をもつなど)については、これまで実施されてきた観点別評価や評定がなじまないと、方向を転換しています。この部分については、一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価する個人内評価を通じて行うとしています。

今後、文部科学省から児童指導要録の「参考様式」が示され、それを受けて各教育委員会は指導要録の様式を決定します。さらに、各学校は自校の通知表を作成することになります。

INFORMATION



新教育の分析と授業改善のための必携書

小学校 指導資料PART33

新学習指導要領改訂の要点

■企画・編集／(一財)総合初等教育研究所 ■規格／A4判 本文2色 272ページ
■発行／株式会社文溪堂 ■定価／1,500円(本体1,389円+税)

編集後記

長期休み中の事故を防ぐために「防災」について改めて考えたいと思います。最近では、スマートフォンアプリでも防災についての知識を得たり、防災用品のチェックリストを作ったりが簡単にできます。有効活用して無事故で過ごしたいと思います。(K記)



企画・編集：ぶんけい教育研究所
発行：株式会社文溪堂
発行日：2018年8月1日